

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4072700372
法人名	社会福祉法人 豊光福祉会
事業所名	グループホーム 望海荘
所在地 (電話番号)	福岡県豊前市大字松江690番10 (電話) 0979 - 82 - 6090

評価機関名	(株)アーバン・マトリックス		
所在地	北九州市小倉北区紺屋町4-6 北九州ビル8階		
訪問調査日	2008年7月29日	評価確定日	平成20年8月22日

【情報提供票より】(平成20年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年10月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	7人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.57人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造高床式平屋造り 2階建ての2階部分
------	-------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000円	その他の経費(月額)	12,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,200円				

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	2名	要介護2	1名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86歳	最低	76歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	倉富医院 / 船津内科医院 / 花岡内科医院 / 川木戸歯科医院
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム望海荘は眼下に海を望む小高い山頂にある平屋造りの1ユニットの事業所である。緑豊かな広大な敷地は、果樹園や畑が広がり、入居者は、園芸や畑仕事・散歩を楽しむことができる。室内は明るく、全体的にゆったりとした空間づくりがなされている。中でも、実際に役割を担う入居者が活動するには、十分なスペースが確保されている。調理室や各室に洗面所・トイレ・化粧台が設けられている点には、一人ひとりの暮らしを尊重しようとする事業所の姿勢をうかがうことが出来る。敷地内には、同一法人が運営する軽費老人ホームやデイサービスがあり、日常的な交流・情報交換を始め、行事や緊急時の連携などがとられている。外部講師を招き、合同で実施されるクラブ活動の種類も、木工や書道・陶芸・生花など多岐にわたり、入居者の楽しみや特技を活かす格好の場となっている。また、日々の記録や会議録からは、業務に取り組む職員の誠実な姿勢を感じることが出来る。毎日、実施される短時間の「ケア会議」では、日々の気付き・反省・課題を職員間で確認し、その内容は、見直しに活かされ、入居者一人ひとりのその人らしい暮らしの実現に繋がっている。事業所内の至る所に、入居者が活けた花が飾られ、来訪者を和ませている。入居者と職員が花を活ける姿は、なんとも微笑ましく、各々が出来ないことを補い合いながら、ひとつの作品を完成させる様に、本事業所の目指す姿を実際に確認することが出来る。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	検討会議を開き、職員間で話し合い、具体的な改善に取り組んでいる。結果についても、全体会議や運営推進会議でも報告がなされ周知されている。具体的には、権利擁護に関する制度の理解については、外部評価の参加・内部への伝達研修を通して、制度の理解と周知に努めている。水分量の把握については記録を取り、適切量の確保に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員間で話し合い、出来るところから、改善に取り組んでいる。評価項目の内容及び趣旨を、職員の意識づくりや新人教育に活かす意向を持っている。
重点項目	運営推進会議の主な検討内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回定期的に開催している。会議では、外部評価結果や活動報告・災害時の協力依頼を行い、地域の方の積極的な発言や忌憚のない意見交換の様子が議事録より確認でき、運営推進会議を通して地域との連携を高めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	面会や運営推進会議時に、意見交換を行い、意見やニーズの把握に努めている。運営者は、ケアやサービスの質を図るために特に苦言を呈することをお願いしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	デイサービスの利用者との日常的に交流があり、クラブ活動やカラオケ等を共に楽しんでいる。また、ボランティアや地域住民が、日常的に訪れる関係が出来ている。法人として、自治会に加入し、地域行事にも参加している。法人主催の文化祭は、地域に開かれ、格好の交流の場となっており、地域との関係を大切に交流・ふれあいが活発な状況がある。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	設立時に作成した理念「敬愛・融和・希望」のもとに「共に生きる・やさしさ」をモットーに位置づけている。理念は、地域密着型サービスの役割をふまえて独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時のオリエンテーションにて冊子を渡し、説明を行っている。毎日の朝礼時に唱和を行い、意識づけを行うとともに、日常的にリーダーが平易な言葉で説明し、理解と共有に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	デイサービスの利用者と日常的に交流があり、クラブ活動やカラオケ等を共に楽しんでいる。またボランティアや地域住民が、日常的に訪れる関係が出来ている。法人として、自治会に加入し、地域行事にも参加している。法人主催の文化祭は、地域に開かれ、格好の交流の場となっており、地域との関係を大切に交流・ふれあいが活発な状況がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	検討会議を開き、職員間で話し合い、具体的な改善に取り組んでいる。結果についても、全体会議や運営推進会議でも報告がなされ周知されている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回定期的に開催している。会議では、外部評価結果や活動報告・災害時の協力依頼を行い、地域の方の積極的な発言や忌憚のない意見交換の様子が、議事録より確認でき、運営推進会議を通して地域との連携を高めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	3ヶ月に1回、市福祉事務所主催の地域ケア会議へ参加し、情報交換や地域ニーズの把握に努めている。また、防災面について、地域の実状を説明し、理解を求め対策の要請を行うなど情報発信も行っている。		
7	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している。	外部研修等に参加後、職員会議で伝達する等、制度の周知を図っている。地域権利擁護事業・成年後見制度についてのマニュアルは作成されている。制度について、何時でも必要時は活用できるように研修を通じて、理解を深めていくことが期待される。		
4. 理念を実践するための体制					
8	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ひだまり四季便り(3ヶ月に1回)を発行し、行事の報告等を行っている。来訪時(利用料の支払いについては、敢えて口座引き落としは行わず、来訪を求める方針)、日誌の閲覧を行い、一人ひとりの状態報告を行っている。急な容態変化などについては、必要に応じて連絡をしている。また、金銭出納帳による毎月の領収書を入居者のごと家族に報告・認印による保管している。		
9	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や運営推進会議時に、意見交換を行い、意見やニーズの把握に努めている。運営者は、ケアやサービスの質の向上を図るために特に苦言を呈することをお願いしている。		
10	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、馴染みの関係の大切さを認識し、異動を行わず、職員の固定化に努めている。隣接する2施設とは、日常的に行き来があり、敷地内でどこでも顔馴染みがいる関係づくりを行い、入居者は、全職員との馴染みの関係の中で安心して暮らせるように支援している。		
5. 人材の育成と支援					
11	19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している。	募集・採用にあたっては、性別や年齢等を理由に採用対象から排除することはない。また資格取得希望者への研修参加の機会の確保を行い、職員の能力アップを支援している。また、慰安旅行・親睦会を実施し、職員のストレス軽減にも努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	20	人権教育・啓発活動	外部研修後の内部伝達を始め、日々の業務を通して人権教育を行っている。定期的な職員会議などで人権について周知を行い議題に挙げ、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。研修の実施記録が求められる。		
		法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んでいる。			
13	21	職員を育てる取り組み	資格取得を目指す職員のバックアップ(講習等の参加機会の確保等)を行っている。運営者は、毎日の業務報告を受ける中で、その都度、経験を踏まえ、一人ひとりに応じた助言を行っている。職員のヒアリングから、疑問点などについても、相談しやすい状況があることが確認出来た。		
		運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14	22	同業者との交流を通じた向上	月に1回、管理者及び職員は、地域の他施設との交流会議に参加し、サービスの質の向上に努めている。また全国老人福祉施設協議会に加入し、認知症介護に関する研修等に参加し、グループホームを含めた広範囲での交流を行っている。		
		運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
2. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	馴染みながらのサービス利用	本人の意向や状態を踏まえ、同一法人が運営する敷地内にある経費老人ホームやデイサービスの利用から始めるようにしている。また、施設間は日常的に行き来があり、次第に馴染みの関係が築かれていく環境にあるため、安心して入居できるように支援している。		
		本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	本人と共に過ごし支えあう関係	「共に生きる」をモットーに掲げ、日常生活の場面で、入居者の特技や生活経験から学んだり、食事や掃除などを共に行う機会を設け、その実践に努めている。室内には、入居者の活けた花が随所に見られ、入居者の生きがいを感じる暮らしの場があった。		
		職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
17	35	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の日常的な会話、雑談等から担当職員だけでなく、全職員で入居者の状況を観察し希望や意向の把握に努め情報交換している。また家族から情報を得るように努力している。アセスメントについては、ADLに関する内容の充実はみられるが、より本人本位の思いや意向の把握の観点から、生活歴の継続した把握・記録を期待したい</p>		<p>家族との関わりの中でアセスメント情報を得るなど入居者の生活暦や意向の把握に努め、日々の生活の中で課題への取組みに活かし、モニタリングの充実に繋げてほしい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族からの情報・意向を担当者会議を開催し十分に検討し、サービス計画の目標・入居者の思いや意向をアセスメントに反映し、介護計画を作成している。更なるアセスメント情報の充実や思い・意向の把握に努められることが求められる。</p>		
19	39	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回を基本に見直しを行っている。見直し以前の対応出来ない変化についても、その都度、見直しを行っている。本人や家族の意見を検討し変化をアセスメントする必要がある。短期・長期目標を設定し、介護計画を作成しているが、モニタリングで現状の計画に対し、3ヶ月毎の評価など現状に即した介護計画とは言えない。家族に説明と確認の記名捺印が必要である。</p>		<p>毎月、モニタリングを実施し、現状に即した介護計画の見直しが求められる。また、介護計画を入居者や家族に説明した日付の記載や確認が求められる。</p>
3.多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
20	41	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>同法人の敷地内に軽費老人ホーム・デイサービスセンター・ケアプランサービスがあり、多様なサービスを提供しており、催し物など多彩に楽しむ機会が多い。法人のスケールメリットを活かしたクラブ活動参加など活動の幅が大きく、ホームの魅力となっている。</p>		
4.本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
21	45	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医は、変更しない方針で、本人や家族の希望を尊重している。月2回の往診や看護師2名の配置など適切な医療が受けられるように支援している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	49	重度化や終末期に向けた方針の共有	個々の入居者の意向を尊重し、主治医の指示のもと、家族と連携し、その時に出来る柔軟な対応を行う方針を取っている。本人・家族については、口頭で説明している。重度化や終末期ケアについて、方針が明確になっているとはいえない。入居者・家族・かかりつけ医と個別に話し合い、そのような状況が生じた場合の関係者との方向性を検討してほしい。		事業所では、どの状況まで対応できるかを明確にしておくことが望まれる。「事業所としての方針」など全職員で検討することが求められる。今後の中で、危機管理マニュアルなどの情報の共有もお願いしたい。
		重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している			
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	プライバシーの確保の徹底	契約時に個人情報の利用目的などを明確にし、説明を行っている。介護時や記録物の取り扱いについても留意している。また、全ての自室にトイレ・洗面所・化粧台が完備され、プライバシーを尊重した支援を行っている。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない			
24	54	日々のその人らしい暮らし	入居者一人ひとりには、「安心の顔」があることを念頭に、アセスメントをもとに作成された一人ひとりの日課を基本に、入居者のその日の意向や状態にそった支援に努めている。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	食事を楽しむことのできる支援	入居者と職員と一緒に調理・片づけを行っている。調理室には、入居者が作業しやすいスペースが確保されている。また定期的に嗜好調査を行い、入居者の好みを反映した献立作りがなされている。また、敷地内にある畑で採れた野菜が食卓に並び、収穫～食事づくりなど、一連の流れで食を楽しむことができるように支援している。		
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片づけをしている			
26	59	入浴を楽しむことができる支援	週3回を基本に入浴を支援している。入居者の重度化により、隣接のデイサービスのリフト浴を使用している。曜日・時間の決まりはあるが、本人の希望にそえるように努めている。個浴も完備しているので、是非、検討してほしい。		デイサービスのリフト浴使用を従前のものとするのではなく、個人の意向・状態に応じて、個浴の利用など多様な入浴の方法を検討してほしい。
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	木工・書道・生花・大正琴・陶芸のクラブがあり活動している。日常的にも、調理・掃除など出来る範囲で役割を担うなど支援を行っている。敷地内には果樹園・畑・花壇などがあり、園芸や畑仕事を楽しむことができる。また、茶摘や筍の皮むきなど季節感を実感できるように支援している。		
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている			
28	63	日常的な外出支援	その日の天候や本人の気分・体調に合わせて、散歩に出かけている。また、同敷地内のデイサービスや経費老人ホームへ行き来し、催し物など参加している。8月より定期的な買物の実施を考えている。		
		事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している			
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	鍵をかけないケアの実践	職員は施錠することの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。見守りを徹底することで、安全面の配慮に努めている。		
		運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる			
30	73	災害対策	マニュアルを作成するとともに、年に2回、隣接の2施設(軽費老人ホーム・デイサービス)と合同で避難訓練を実施し、内1回、消防署の立会がある。また運営推進会議において、地域に向けて、災害時の協力を依頼し承諾を得ている。		
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	栄養摂取や水分確保の支援	献立については、栄養士が作成し、栄養バランスの配慮がなされている。摂取量についても記録を取り、適切な確保に努めている。		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	居心地のよい共用空間づくり	ホールは広く、ゆったりとした空間づくりがなされている。また、和室やホール内各所に配されたソファやテーブルでくつろげる。随所に、季節の花が飾られ、季節感や潤いを感じる空間となっている。		
		共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
33	85	居心地よく過ごせる居室の配慮	一人ひとりの使い慣れた物が持ち込まれ、その人らしさを尊重した空間づくりがなされている。また各居室には、トイレ・洗面所・化粧台が設けられ、プライバシーを尊重した居心地の良い空間となっている。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			